

目名	英語コミュニケーション論 I	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			総合政策学部		□必修 ■選択
			学部	□必修 □選択	
英文表記	English Communication Theory I	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	みうら かおる	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	三浦 薫	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	いくら勉強をしてもちっとも英語が話せない理由はなにか？それは、単語力、文法能力の不足・・・ではなく、実は日本語には無い英語独特の考え方にあるかもしれない。この「英語の核心」を克服することで、英語が身近なものになるはずである。英単語、英文法を教える講義ではなく英語について学ぶ。				
到達目標	英語コミュニケーションと日本語コミュニケーションの背景にあるそれぞれの考え方を「独立」「つながり」「対等」の3つのキーワードを中心に学ぶ。				
授業概要	英語、日本語それぞれのコミュニケーションの背景に有る考え方を、具体的な表現を例から学びそこが理解できることで、実際に苦手な文法事項のよりよい理解に繋がることを実感できる。				
授業計画					
第1回	英語とは				
第2回	英語の思考法				
第3回	文法とコミュニケーション				
第4回	独立型コミュニケーション				
第5回	個の捉え方				
第6回	人称の捉え方				
第7回	数の捉え方				
第8回	意思の表し方				
第9回	つながりの必要性				
第10回	楽観主義				
第11回	対等の必要性				
第12回	敬語の使い方				
第13回	感謝と謝罪の捉え方				
第14回	褒めると断ることの必要性				
第15回	省略の捉え方				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	決められた箇所をかならず読んで予習し（1.5時間）、自分の意見をまとめてから講義に臨むこと その時間に学んだことを、講義中に示された関連文献により深めること（1.5時間）				
履修条件 受講のルール	課された日本語の本を読んで講義に望むことができる学生 英語、英会話が得意である必要はありません。				
テキスト	井上逸兵「英語の思考法」筑摩eブックス				
参考文献・資料	講義内で指示します				
成績評価の方法	試験60%、小テスト30%、レポート10% ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。				

オフィスアワー	水曜3限、5限
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	英語の授業ではありません。英語の考え方を学びます。なぜこれほどまでに英語が日本人にとって難しいのかの理由がわかるはずです。